

# 一般会計

# 一億八千万余を追加

## 12月定例町議会

### ●専決処分の承認(2件)

9月から10月にかけて、台風と秋雨前線による災害が発生。このため町では、急ぎよ総額3232万4千円の予算を編成して復旧事業を実施しました。今回その予算について、議会の承認を得たものです。



●社会福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定  
高齢化社会が進むなかで、広く社会福祉事業を展開するため、「社会福祉基金」を設

置することになりました。

### ●土地開発基金条例の制定

公共事業を実施するうえで土地の確保は第一条件。土地の先行取得などにより、事業を円滑にするため「土地開発基金」を設置することになりました。

### ●県営土地改良事業に要する経費の一部負担

千葉県が行っている次の事業は、横芝町に大きな恩恵があることから、事業費の一部負担を議決しました。

①県営かんがい排水事業(古川地区)

②県営水田農業確立排水対策特別事業(八田長倉、北清水地区)

③県営湛水防除事業(北清水地区)

④県営ため池等整備事業(小



堤地区)

(現時点での負担金の予算額は、6372万7千円)

●九十九里地域水道企業団規約の変更に関する協議

●山武郡市広域水道企業団規約の変更に関する協議

企業長の任期や監査委員の選任方法などを定めた関係条文の改正について協議があり、これに同意したものと

### ●一般会計予算の補正

追加額は1億8212万8千円で、今回設置することになった土地開発基金に6000万円、社会福祉基金に4000万円を積み立てるほか、東陽病院組合負担金1815万6千円、がけくずれ対策としての治山事業(取立地区)に950万円などが盛り込まれています。

### ●国民健康保険会計予算の補正

国保会計の予算額は、過去3年間の医療費をもとに決めますが、今年度の医療費は、それを上回る勢いで伸びているため、9996万9千円を追加しました。

### 【議員提出議案】

●「第6次定数改善計画の早期策定」に関する意見書(可決)

「40人学級」を取り入れた第5次学級編成及び教職員定数改善の12年計画は、児童生徒の急減を受けて、予定より早く完結した。しかし、人づくりの土台となる「教育」の水準を上げるためには、さらに教員の配置率を高めることが重要である。児童生徒数が減っている今こそ、40人学

級を見直すなど、より豊かでゆきとどいた教育環境を進めるべく、「第6次定数改善計画」を早期に策定するよう要望する——というもの。

●義務教育費国庫負担制度に関する意見書(可決)

国は昭和60年度以来、教材費と教職員の旅費を除外するなど、義務教育費の削減を続け、地方財政に大きな負担転嫁を行っている。そして、平成4年度予算においても、さらに国庫負担の削減を検討している。しかし、このような措置は、単に地方財政を圧迫するだけでなく、教育の根幹である「義務教育制度」に大きな影響を及ぼすことになる。

国は、義務教育国庫負担制度の現行水準を維持するよう要望する——というもの。

●日朝国交正常化の早期実現を求める意見書(可決)

「近くて遠い国」といわれる朝鮮民主主義人民共和国との国交正常化は、アジアの平和と繁栄のため、極めて有意義なことである。政府は、日朝両国間の国交正常化の早期実現に向けて努力するよう要望する——というもの。